

平成 29 年度 第 8 回理事会議事録

平成29年11月9日19時00分、大宮ソニックシティ8F 第802会議室において、理事会を開催した。
定刻に、代表理事 宇田英幸が議長席につき、本会は有効に成立した旨を告げて議案の審議に入った。

理事 総 数	21名
本日の出席理事数	19名、委任状提出1名
監 事 総 数	2名
本日の出席監事数	1名、委任状提出1名

■定足数：監事 2 名・理事 21 名、計 23 名のため、12 名で過半数以上

■出席：会長) 宇田英幸 副会長) 伊藤伸、茂木有希子
理事) 石川麻子、大橋幸子、北村ミチル、倉元貴志、小池祐士、三枝佳代、阪井之哉、鈴木香織、
鈴木真弓、高橋啓吾、田坂翔太、深井勉、平田樹伸、星野暢、丸達也、安井宏
広報部) 小峰一宏
地域包括ケア推進部) 野村健太
福祉機器委員会) 鈴木康子
総務部) 彩の国東大宮メディアセンター 今井孝 (書記)
監 事) 土屋美樹 (監事)

■委任役員：星野裕亮、平田樹伸、川俣実 (理事)、

■欠席役員：生方剛

■その他欠席：埼玉県リハ専門職協会・コミュニケーションネットワーク川越) 渡部慶和

敬称略

■議 題：

I. 審議・検討事項

第 1 号議案 第 6 回理事会議事録の確認 (資料 1)

資料にて確認し、満場一致で承認された。なお、修正点については各自報告する事となった。

第 2 号議案 表彰者の推薦依頼について (資料 2-①②)

県士会は茂木理事を推薦する事で満場一致で可決された。

第 3 号議案 共催・後援について；在宅リハナース・ケアマネ研修会共催、「介護の学校in埼玉」
後援 (事後報告)、日本ハンドセラピー学会学術集会共催 (資料 3-①②③)

どちらも承認する事で満場一致で可決された。

第 4 号議案 「埼玉県作業療法士会認知症専門研修と人材育成」に関するアンケート調査の実施について
(資料 4-①②③)

実施する事で満場一致で可決された。

第 5 号議案 平成 30 年度 RUN 伴の参加について

来年度の参加表明とイベントと共催は内諾する事で満場一致で可決された。

第 6 号議案 平成 30 年度診療報酬・介護報酬情報等に関する作業療法伝達講習会・意見交換会 (仮)
(資料 5)

- ・資料の内容に加え、開催時期は 3 月第 3 週または第 4 週とし、県士会で資料を作成する。
- ・診療報酬についての講習会を所沢で、介護報酬についての講習会を大宮で開催し、別会場はサテライト会場として同時中継する。
- ・参加者は原則として県士会員、4 月より加入を確約出来るのであれば非会員でも参加可能とする。
- ・フォームメーカーは診療と介護報酬別・会場別でそれぞれ作成し、会員・非会員の選別方法は検討する事とした。

- ・受講料は資料代として一律 1000 円。(サテライト会場も同様)
- ・PT と ST の参加者は県士会に加入している事を参加条件とするが、原則的に OT を優先とする。
- ・印刷については外部発注する事とした。

上記内容で、満場一致で可決された。

第 7 号議案 アンケート結果の県士会 HP 上への掲載について (資料 6-①②)

協会に提出するアンケート内容について、満場一致で可決された。アンケート結果の HP 上への掲載について、掲載形態を委員会で検討し、瓦版に掲載する事で、満場一致で可決された。

II. 報告・確認事項

1. 各部局活動報告

1) 事務局長

大橋事務局長より以下の報告があった。

- ・10月28日に協会の会員管理データシステムモデル事業講習会に参加。5年計画で協会と県士会の名簿管理が統合される予定。
- ・事務所にサイトウアヤ氏が入職した。

2) 法人管理部

三枝理事より以下の報告があった。

- ・第7回議事録をサイボウズにアップした。来月の審議事項とする。

3) 総務部

丸理事より以下の報告があった。

- ・20日までに定期便で配送する資料を提出する事。

4) 財務部

北村理事より以下の報告があった。

- ・サイボウズに最終予算案をアップした。確認しサイボウズにコメントを残す事。

5) 学術部

安井理事より以下の報告があった。

- ・10月21日に学術部主催の研修会を開催(高次脳機能障害に対する作業療法)。参加73人中、会員63人、非会員(他県会員も含む)10人。滞りなく運営された。

6) 生涯教育部

鈴木香織理事より以下の報告があった。

- ・11月11,12日にOT協会生涯教育会議へ参加予定。制度改定について報告を受ける予定。

7) 職能開発事業部

鈴木真弓理事より以下の報告があった。

- ・12月2,3日に精神障害を専門としていない研修会開催予定、11月17日打ち合わせ。現在、会員16名、学生2名の応募あり。

8) 広報部

生方理事より以下の報告があった。

- ・11月14日寿エンタープライズと会議を開催予定。

9) 地域リハ推進部

平田理事は欠席のため報告なし。

10) 地域包括ケア推進部

茂木理事より以下の報告があった。

・第3回ナイトセミナーが9月13日に開催された。高橋昭彦氏（ひばりクリニック院長、認定 NPO 法人うりずん理事長）を講師に迎え「0-100 歳までの地域医療の実現」をテーマに講義が行われた。参加者 93 名、アンケート回収率 92.5%。OT41 名、PT20 名、看護師 7 名。所属は訪問 18 名、急性期と通所が 15 名。

・来週月曜日に今年度最後のナイトセミナーを開催予定。講師は加藤忠相氏（あおいけあ 代表取締役）。フォームメーカーにて既に定員を満たしている。

・平成 30 年 1 月 28 日にコラボ研修開催予定、11 月 20 日から応募開始。50 人中 15 名はスタッフのため実質 35 名の募集。広報を。

11) 認知症地域支援推進部

倉元理事より以下の報告があった。

- ・11 月 18,19 日に協会で県士会の取り組みを発表予定
- ・来年度研修開催日、会場を準備するため、各部署と打ち合わせ予定。
- ・資料 4-3 にて『認知症予防』への取り組みについて報告。認知症予防の語の概念。誤解を生む?? 認知症があっても安心して暮らせるように言葉の表現を。MCI の支援の取り組みも必要。タイトルについては、再度検討を行う。

12) 福利厚生・災害対策部

阪井理事より以下の報告があった。

- ・前回審議された、平成 29 年度災害発生を想定した訓練の実施についての希望調査（第 3 号議案）について、『士会役員レベルでの連絡網による被災状況・安否確認』のレベルで参加することとなった。
- ・10 月 21 日埼玉県災害リハ研修会を開催。OT の参加者が少なかったため、来年はより広報を実施する。
- ・11 月 3 日災害リハの会議を開催。
- ・2 月 3 日災害リハのアドバンス研修を開催予定。
- ・研修会受講者にコーディネーター等の名称が取得可能かについては 3 士会で統一が必要であり、医師の理解がなければ動けない。今後検討していく。

13) 制度対策部

石川理事より以下の報告があった。

診療報酬・介護報酬情報等に関する作業療法伝達講習会・意見交換会について、協力をお願いしたい。

14) 各ブロック

東部) 小池理事より以下の報告があった。

- ・11 月 29 日「語らナイト」。現在、22 人の応募者あり（他ブロック者含む）。
- ・12 月 12 日事例報告と発表会開催予定。

西部) 深井理事より以下の報告があった。

- ・12 月 16 日 MTDLP 基礎講習開催予定。35 名応募あり。
- ・平成 30 年 2 月 16 日現職者研修事例検討・事例報告開催予定。
- ・11 月 1 日西部ブロック交流会開催。59 名参加。

南部) 鈴木香織理事より以下の報告があった。

- ・10 月 18 日事例検討会開催し発表者 7 名、聴講者 13 名。
- ・11 月 19 日現職者共通研修を開催 48 名定員を満たし、キャンセル待ちあり。最近は申し込みが増え、臨床経験 4～5 年目 OT が増えた。
- ・11 月 25 日若年者の集い（上尾）開催予定。

北部) 星野裕亮理事欠席のため、鈴木真弓理事より以下の報告があった。

- ・1 月 21 日現職者共通研修開催予定。

- ・第27回埼玉県作業療法学会に北部ブロックとして協力予定。

5) 訪問リハビリテーション振興委員会

星野暢理事より以下の報告があった。

- ・9月30日ベーシック研修会開催。64人参加し定員割れし、赤字となった。アンケート内容は良好。広報の工夫が必要。
- ・平成30年1月20日在宅リハナース研修開催予定
- ・平成30年2月4日アドバンス研修会開催予定。

16) 生活行為向上マネジメント推進委員会

高橋理事より以下の報告があった。

- ・10月27日事例書き方検討会開催。40名参加。
- ・10月30日基礎研修開催、30名参加。
- ・12月16日西部ブロックで基礎研修開催。
- ・1月26日大宮ソニックシティにて事例の書き方検討会開催予定。
- ・3月に事例検討会を予定。
- ・生活行為向上マネジメント協会から、平成30年度も日本作業療法協会と連携継続する意向を発表。連携支援室を立ち上げる予定。

17) 子ども支援委員会

田坂理事より以下の報告があった。

- ・11月18、19日に発達障害を専門としない研修会を予定。35名応募あり。入会希望4名、懇親会は20名と学生6名参加予定。
- ・小児専門とする研修会、12月23、24日開催予定。募集定員9名中、5名申し込みあり。案内文は作成中。
- ・11月4、5日にOT協会制度対策部障害保健福祉対策委員会主催の「特別支援教育での実践に関する情報交換会」に参加。特別支援教育についての話題があった。寺尾智樹氏（埼玉県立小児医療センター）と佐藤竜也氏（埼玉県立精神医療センター）が出席。埼玉県作業療法士会における特別支援教育への関わりの実態について報告。情報収集の際、会員15名程度の協力あり。これを機に、今後は相互的に意見伝達できるメーリングリストの作成を検討中。

18) 福祉機器委員会

鈴木康子委員長より以下の報告があった。

- ・11月2日運転再開支援を開催している施設の意見交換会を実施した。25名の参加があった。
- ・委員会は年度にもう一回開催予定。

19) 第27回埼玉県作業療法学会

丸理事より以下の報告があった。

- ・開催日は6月17日、開催場所は日本医療科学大学に決定。
- ・演題募集を開始。平成30年1月17日まで募集。

20) 埼玉県リハビリ専門職協会・コミュニティネットワーク川越

渡部氏欠席のため報告なし。

2. 会長・副会長より

宇田会長)

年末に向け多忙となるため、健康に気を付けてください。

茂木副会長)

11月12日さいたま国際マラソン参加。片麻痺の利用者と走ります。来週、地域ケア会議に大分へ出

向く予定。来年1月に熊本県の医師会から依頼あり。

伊藤副会長)

学生会員が81名となっている。研修会に学生会員の参加者が徐々に増えている。来年度の移行について、電腦研修会を含めて意見が集まりつつあり、現在130名から回答あり。後に集計予定。モデル事業の一次審査が通り、北海道との戦いとなる。

3. 監事より

- ・認知症上級コースの地域実践が非常に良い研修であり、繋がりが出来る良いきっかけになっている。

4. その他

なし

Ⅲ. その他

次回理事会：平成29年12月14日（木） 901会議室

以上をもって議案の全部を終了したので、議長は21時30分閉会を宣した。

上記の議決を明確にするため、出席理事及び出席監事が次に記名押印する。

平成30年 1月 11日

一般社団法人埼玉県作業療法士会 理事会
